

女性・若者と県議会議員との意見交換会の概要

株式会社ハッピージャパンとの意見交換会

開催日時	令和8年1月23日（金）15時10分～16時10分
開催場所	株式会社ハッピージャパン（山形市）
出席議員	田澤伸一、佐藤寿、橋本彩子、石川正志、阿部恭平、伊藤香織
参加者	若手社員9名
意見交換の概要	「若者にとって魅力的な企業」及び「山形で暮らすことの魅力」をテーマに、2班に分かれてワークショップ形式で意見交換を行った。 【主な意見等の内容】 ①「若者にとって魅力的な企業」について ・他の社員と気楽に話せるような関係性など、心理的安定性が意外に重要と感じる。こうした雰囲気の中で、仕事を通して成長できる環境があるとなおよい。 ・良い人間関係が構築できて、仕事を任せてもらえる環境。普段の仕事を楽しく、面白くやれるのかが重要ではないか。 ・休暇に加え、フレックスタイム制やリモートワークなど柔軟な働き方ができる制度が充実し、かつ、それらを活用しやすい雰囲気がある職場。自分のライフイベントに合わせて働きやすい、ワーク・ライフ・バランスがしっかり保てることが若者を惹きつけると思う。 ・研修などスキルアップの機会が充実し、若手社員が能動的に仕事をやれる環境が整っていることではないか。社会に認められるような製品を自分も手掛けてみたい。 ・結婚と出産を見据えると、産休・育休といった福利厚生が整備されている会社であることが重要だと思うし、子育てに当たっても、家族との時間を過ごせるよう土日に休めることは重要だと考える。 ・資格取得に対し、資格試験の時期や対象を選択できる会社の補助があるととても良いと思う。 ・企業としての安定性に注目すると、コロナ禍などの非常時に自社内でリスクを分散できるのは魅力である。 ・働きやすさの観点から企業の魅力を考えると、仕事に対する意欲や家族など家庭の状況だとか、重視する点が個々で違うので、様々な働き方が選べると企業の魅力は高まると考える。製造業の場合、フレックスタイム制やリモートワークなどは難しいが、年次有給休暇を半日単位、時間単位で取得できることなども重要だと思う。社員の希望を聞きながら労働環境の整備を進めてくれている。

②「山形で暮らすことの魅力」について

- ・人の多さがちょうど良く、皆が優しい。
- ・安心してゆっくり暮らせる環境が、自分には合っていると思った。一度県外に出て気付いた。
- ・生活環境でのストレスが少ないことに加え、実は文化施設が充実しているという点もポイント。
- ・メインの移動手段は自家用車で、店舗などがそれを前提に駐車場を整備している。好きなところにいつでも行け、買い物も便利だと感じる。
- ・身近に豊かな自然がある。温泉も気軽に行ける。食べ物がおいしい。精神的にも肉体的にも癒される環境がどこにでもある。
- ・楽しむという視点と暮らすという視点は違うと感じる。東京に出向くこともあるが、山形に住んでいて不自由は感じないし、暮らしていて居心地の良い場所だと思う。満員電車で通勤する必要がない点も良い。
- ・小さい頃は山形は田舎だと感じ、都会に憧れる気持ちもあったが、自分で車を運転するようになり、行動範囲が広がったことで、山形の中にも自然や遊ぶ場所があると気付いた。仙台も近く、暮らすにはちょうど良い場所だと思うようになった。
- ・庄内にも新幹線が通るなど、県外とのアクセスが良くなると、もっと山形の魅力が増すと思う。